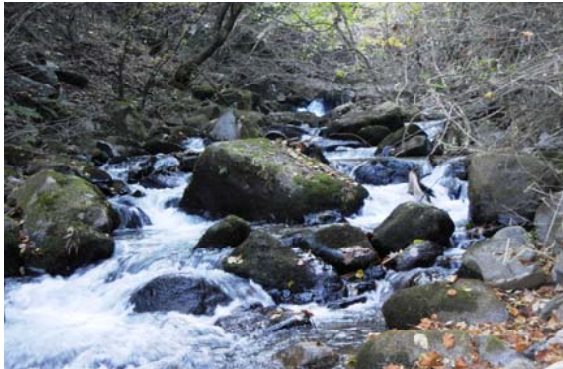


森づくり最前線

磐城森林管理署 勿来森林事務所 首席森林官 梁取 弘和



風光明媚な四時川風致探勝林



例年ダム祭りが開催される四時ダム



津波被害を受けた潮害防備保安林

私が担当している勿来森林事務所は、福島県いわき市の南部に位置し、茨城県境付近の国有林約1,900㍍を管轄しています。

当事務所管内の特徴は、風光明媚な四時川風致探勝林、海岸の潮害防備保安林（津波・高潮などによる被害や強風による海水の塩分被害を防止するために配備し指定された森林）、スギ・ヒノキの木材生産を主たる目的とした林業経営を行う森林など多岐にわたっています。

四時川風致探勝林は、春は新緑、秋は紅葉等一年を通して色々な顔を見せてくれます。例年、4月末には四時川下流にある四時ダムにおいて、ダム祭りが開催され、多くの人で賑わいを見せます。

当事務所は、本署といっしょに国有林のパネル展示や「モックン」（木の枝などを人に見立てて作るキーホルダーなど）作り等を通じ、地域の人々との交流等を図ってきました。昨年は、東日本大震災の影響からダム祭りの開催は見合わせとなりましたが、それに代わる催しとして「がんばっぺinしとき」と銘打ったミニイベントが開催され、当事務所も参加し、小規模ながらパネル展示を行いました。

なだらかな海岸線が続き、砂浜がきれいなことなどから勿来県立自然公園の指定を受けている潮害防備保安林は、マツクイムシの被害などにより高齢のクロマツが枯れてきましたが、枯れた木を伐ってそこに新たな苗木を植えるという改植を進めながら維持・管理をしています。

今回の大震災による津波の被害で老木が折れたり、林内にゴミが流れ込むなどしましたが、地域の皆さんとともにゴミを取り除くなど復旧に向けて取り組んでいます。

また、当事務所管内には目兼スギ展示林があります。この展示林は明治時代に植栽され、昭和4年には、林業試験場技師の河田博士の指導により間伐の試験地（学術参考林）に指定し、これまで4回の間伐と1回の択伐（成長に伴い混み合った林の立木を一部抜き伐り整備）を実施しています。

6.74㍍の区域に樹高30㍍以上、胸高直径70㍍（幹周り210㍍）級のスギが占める森林となっていることから、林業関係者等が視察に訪れたり、森林教室のフィールドなどとして利用しています。機会がありましたら是非訪れてください。

昨年4月に当事務所に赴任して9か月余りになりますが、大震災の復旧・復興と原子力発電所事故の早期収拾等まだまだ先の見えない状況にあります。

今後、崩落地の復旧や森林の放射能除染等多くの課題に対応しなければならないと思いますが、できることからひとつひとつ解決し、目兼スギのような森林を後世に残せるよう頑張りたいと思います。



目兼スギ展示林